

ボランティアセンター 東日本大震災支援ニュース

2011年6月29日 No50

日本医療福祉生協連 近畿ブロック

発行担当 広島医療生協・屋敷
みやぎ県南医療生協 槻木事務所
連絡先 090-6056-8275

常磐線の東側(太平洋側)に

戻り始めている被災者たち！！

先週泥出し、瓦礫片づけのボランティアに入ったIさんは山寺地区。ここは常磐線（宮城県亘理駅～福島県いわき市四ツ倉駅間不通）の東側で一帯が壊滅するほど津波の被害がひどかった地域。この辺一帯は行政により「立ち入り制限区域」として「ここでは暮らせない」とされ未だ電気も水道も電話も復旧していません。

しかし、ひとり、またひとりと再起を決意した住民たちがこの地域に戻り始めています。「瓦礫を出しても行政は持って行ってくれない。でもここに帰るとやっぱり落ち着くわ…」ボランティアの協力で頑張ってみようと思直した、とIさんの奥さんは話します。

→草刈りに戻っていたIさん



瓦礫をまとめても町は持って帰ってくれない！ ←



今週末ボランティアが入る予定の花釜地区・シーサイドタウンのYさん夫妻の家で当日作業の打ち合わせ。水道は出るものの水は臭くて飲めないそうです。明日ペットボトルの水を届けることを約束。「医療生協の物資支援でもらったTシャツと靴下、助かってるよ～」と感謝されました。

りんごラジオから取材を受けました！！

旧坂元中学跡仮設住宅での住民アンケート（78世帯256人居住の内45世帯回収）の結果表を山元町役場に届けた際、山元町災害臨時FM放送局「りんごラジオ」の方の取材を受けました。明日さらに詳しくお話しすることになっています。



槻木ボランティアセンターへのスタッフ派遣を！

全国の仲間のみなさん、よろしくお願ひします！！